

2019（令和元）年度学校関係者評価報告書

2020（令和2）年5月

学校法人AOI国際学院

AOI国際福祉専門学校

◆令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人A O I 国際学院A O I 国際福祉専門学校は、学校評価に関する関連法令に基づき学校関係者評価委員会を設置し、「令和元年度学校自己点検評価報告書」を基本にした学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

1. 対象期間 2019（平成31年）4月1日～令和2年3月31日

2. 実施方法

1. 専修学校における学校評価ガイドラインを参考に実施
2. 年度末終了後に評価を実施
3. 評価結果はホームページに掲載

3. 学校関係者委員

氏 名	所 属
高 橋 剛	学校法人慶應義塾 塾監局 学術研究支援部 課長
大 槻 清 一	社会福祉法人 欣水会 特別養護老人ホーム 滝の園 事務長
齊 藤 良 昭	鶴勝・齋藤駐車場 経営者

4. 自己点検評価項目

以下の11項目について実施

- ◇基準1 : 教育理念・目的・人材育成像
- ◇基準2 : 学校運営
- ◇基準3 : 教育活動
- ◇基準4 : 学修成果
- ◇基準5 : 学生支援
- ◇基準6 : 教育環境
- ◇基準7 : 学生の受け入れ募集
- ◇基準8 : 財務
- ◇基準9 : 法令等の遵守
- ◇基準10 : 社会貢献・地域貢献
- ◇基準11 : 国際交流

5. 評価項目に対する評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

◇基準1 : 教育理念・目的・人材育成像

総合評価

3.4

- ・自己評価3～4は適切である。
- ・建学の理念や教育方針も明確であり、分かりやすく示されている。
- ・根本的な部分であるので、留学生を意識して、ホームページでは英語ページが用意されていると、より良いと思われる。
- ・建学の理念・教育人材像が明確に定められており、それに基づいた学校運営がなされている。
- ・今後も貴学の理念に基づき取り組まれていただきたい。

◇基準2 : 学校運営

総合評価

2.5

- ・自己評価2～3は適切である。
- ・建学の理念や教育方針に基づく、組織機構や諸規程の整備は急務である。
- ・HPを有効活用し、積極的に貴校の情報を発信していただきたい。
- ・組織の使命を考え、目に見えるかたちで確立してほしい。

◇基準3 : 教育活動

総合評価

2.8

- ・自己評価2～4は適切である。
- ・建学の理念に示されている「介護現場で実践できる人材の養成」を実現するためにも介護福祉分野の施設等との繋がり重要であり、具体的な施策の立案・実行は喫緊の課題であると思われる。

◇基準4 : 学修成果

総合評価

2.8

- ・自己評価2～4は適切である。
- ・国家試験合格率（合格者数）は重要な指標である。また、介護福祉現場で活躍する卒業生は学校の財産であるので、現場の生の声を在籍学生に聞かせるなど、資格取得へのモチベーション向上に向けたイベントなど取り組みは重要であり、継続・発展を期待する。
- ・就職率100%は素晴らしい、この取り組みの継続を期待する。
- ・国家試験の合格率は確実に向上している、更なる向上を期待する。

◇基準5 : 学生支援

総合評価

3.0

- ・自己評価2～4は適切である。
- ・卒業および国家資格取得に向けた支援は、継続することによって改善点が見出されていくと思われる。「学費」、「生活」、「語学」、「実習」サポートなど、多様な学生の生活環境を把握し、学習を継続できる環境作りの支援は重要である。
- ・学生に寄り添った支援をしている。
- ・特待生制度・奨学金制度をPRして行くべきである。

◇基準6 : 教育環境

総合評価

3.7

- ・自己評価3～4は適切である。
- ・今後の取り組みについても、維持にとどまらずより向上されることが期待される。

◇基準7 : 学生の受け入れ募集

総合評価

4.0

- ・自己評価4は適切である。
- ・日本人や留学生ごとの評価項目を設けることにより、より有益な評価となり、各々の課題や改善のための施策などが、より明確になってくると思われる。また、介護福祉士の仕事の魅力の発信状況なども評価項目に加えると、ますますの発展に資すると思われる。

◇基準8 : 財務

総合評価

2.8

- ・自己評価2～3は適切である。
- ・課題認識および今後の取組みについても適切である。

◇基準9 : 法令等の遵守

総合評価

2.5

- ・自己評価2～4は適切である。
- ・未整備の体制整備を早急に行っていただきたい。
- ・予定通りの取組みが実践されることが期待される。

◇基準10 : 社会貢献・地域貢献

総合評価

1.7

- ・自己評価1～3は適切である。
- ・地元の祭りなどの機会に地域社会の皆さんの実情に接し、学習意欲の向上に繋げる試みは重要である。
- ・地域の夏祭りに学生・職員が参加し、日本の歴史と文化に触れると共に地域社会に貢献している。

- ・自己評価3～4は適切である。
- ・日本以外との交流というより、留学生と日本の交流という点において十分な活動が行われている。